

幅広く読書をするこゝのよさを実感できる児童の育成

一小学校4年国語科の読書単元

「読書作戦 指令を解き明かせ！！」を通して一

学校図書館教育班 石森 孝子（小学校教諭）

児童の読書の実態

- ・読書量に差がある
- ・読書の分類が偏っている

児童に

幅広く読書するこゝのよさを
実感させたい！

教師の願い

- ・読書から必要な情報を得られるようにさせたい
- ・様々な本に興味をもたせたい

これまでの読書指導

自分たちがおもしろいと思っ
た本を紹介し合う活動

新しい読書単元

読んだことのない図書分類の
本を読んで問題を作り、
答え合う活動を取り入れる

手だて1 指令を作る活動

指令とは、児童が興味をもって
本を読んでみようと思うような
分類ごとに作った問題



指令を作る場
の設定が大事！

「指令」作りの手順

- ① 指令を作る本をグループごとに分担した分類の中から、一人2、3冊ずつ本を選んでおく。
- ② 選んだ本から1冊選んで、班ごとに分かれて読書をして指令を考える。
- ③ 「指令の答え」にすることは、友達が、「へー」「なるほど」「知らなかった」と思うようなことを考えながら見つけるように本を読んで、いくつかの言葉や文に付箋を貼っておく。
- ④ 「指令の答え」を導き出すような問題文を考え、それを「指令」とする。

児童が作った指令

2類
ガンジ-はじうしてめい、かを持て
いたのに電車をあさされたか、かい
明せよ。

8類
あかんべいの
意味を解明
ヒント ねいろことば せよ



楽しく読んで、
今まで知らなかった
ことが、分かった！



自分で本を見つけ
楽しく読んだよ！

成果

読書作戦という単元を工夫して楽しく活動する場を設けることで、今まで読んだことのない本を手に取り、抵抗なく読書をする姿勢や雰囲気の中で、様々な本に興味をもち、色々な分類の本を幅広く読むこゝのよさを実感させることができた。

手だて2 指令を解く活動

「指令」の解き方（本の見つけ方）

- ① 本の題名に注目して指令のポイントとなる言葉を見付ける。
- ② 本の題名にないときは、意味の広い言葉を考えて、本の題名に注目して見付ける。
例えば、
シオカラトンボ → トンボ → こん虫 → 虫
- ③ 本の目次のページで見付ける。
- ④ 本を開いて、太字で書かれている見出しをさがしながらめくって見付ける。
- ⑤ 同じタイトルのほかの本の中も見てみる。



解明した分類には、
どんな本があるか
分かった！

読書をして指令を
解明したら本の内容が
詳しく分かったよ！



手だて3 本を紹介し合う活動

「紹介の仕方」

- ① 2班ずつで互いに指令を解いて見つけた本を見せながら、分かったことやおもしろかったことなどを紹介し合う。
- ② 2回移動して、違う班で紹介し合う。
- ③ 読みたい本を記録し、読書作戦の感想や今後の読書についてワークシートにまとめる。

ほかの分類の本も
読んでみたくなっ
たよ！



<読書作戦後の児童の感想>

- ・今までと違う分類の本も読みたい。
- ・分類を知ってどこに何があるか分かった。
- ・今までより本に興味をもった。

課題

単元終了後も学習や読書生活に活かせるように読書を継続できるような指導を工夫していきたい。